

養浩館庭園開園 20 周年特別陳列

養浩館と福井藩の庭園

- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成25年5月10日(金)
~7月7日(日)
- 休館日 6月17日(月)、18日(火)

養浩館庭園開園 20 周年を記念し、養浩館（旧御泉水屋敷）の歴史を物語る絵図や写真などを展示します。また福井城や江戸の福井藩邸の庭園に関する資料もあわせて展示し、江戸時代の庭園文化についても紹介します。

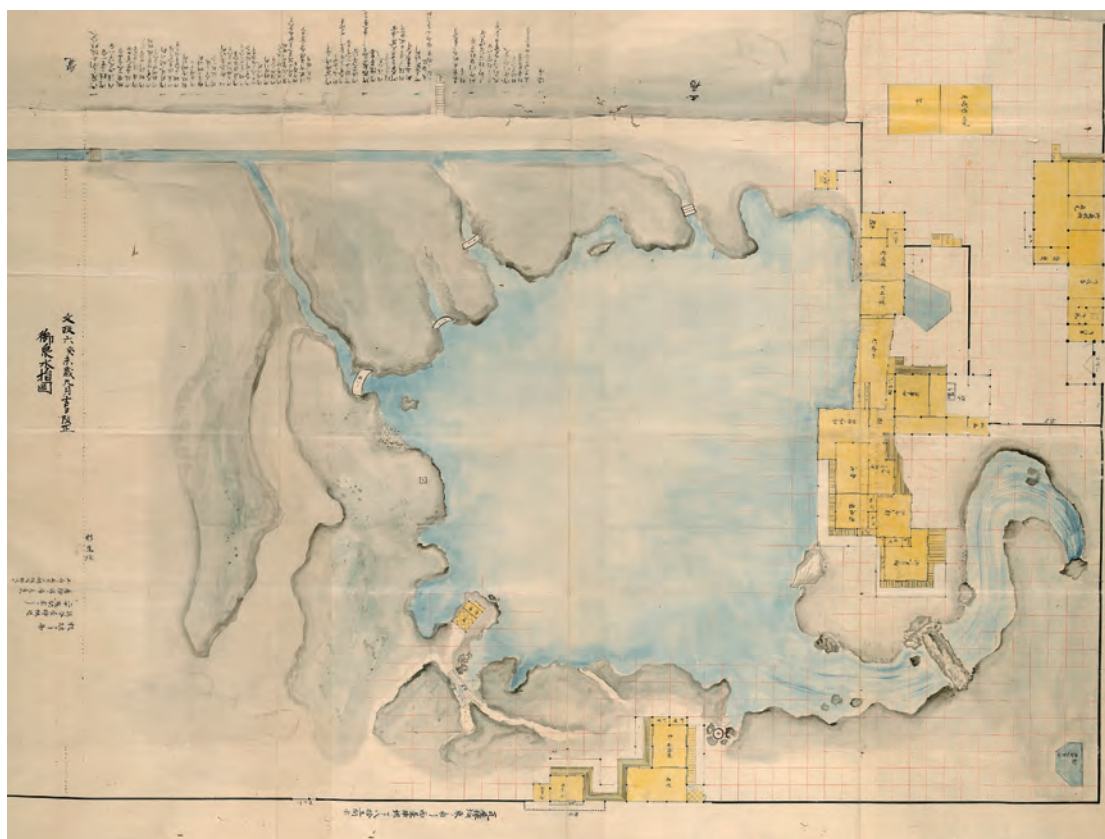
御泉水屋敷の変遷

養浩館庭園は、江戸時代には「御泉水屋敷」と呼ばれる福井藩主松平家の別邸でした。

御泉水屋敷の成立時期についてははっきりとはわかっていませんが、福井城ができた当初は重臣永見右衛門の屋敷地で、永見氏が2代藩主松平忠直に攻め滅ぼされてのち、藩主の別邸になったと伝えられています。

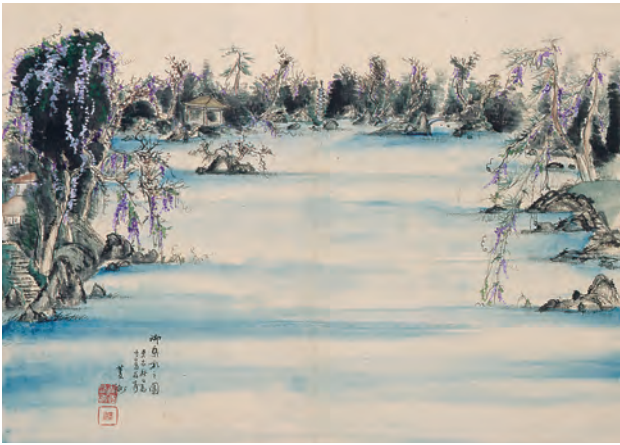
御泉水屋敷が今見るような姿に整備されたのは7代藩主吉品（元5代藩主昌親）の頃とされます。吉品は従来の御泉水屋敷である「本御泉水」の改修・整備に加え、西隣に「新御泉水」屋敷を建て自らの隠居所としました。この時、御泉水屋敷の敷地は最も広くなり、今の養浩館庭園・お泉水公園・歴史博物館を合わせた程の大きさとなりました。吉品没後の御泉水屋敷は、藩の迎賓館や藩主の子女の住居などとして使われたようですが、その規模は新御泉水部分が縮小した元の御泉水屋敷の敷地に

戻りました。また幕末頃には洋式銃の製造所が設けられるなど時勢を反映した使われ方もしたようです。



御泉水指図（松平文庫 福井県立図書館保管）

文政6（1823）年に作られた御泉水屋敷の平面図。7代藩主吉品の頃に改修・整備された御泉水屋敷の様子を踏襲して描かれていると思われます。絵図には「御座ノ間」「御月見ノ間」などの表向きの諸部屋や「御台所」「御湯殿」など復原された建物が描かれています。また図の上部には「覚」として建築部材の寸法等が書き込まれています。



福井温故帖より「御泉水之図」（越葵文庫 当館保管）

旧福井藩士寺島知義が在りし日の福井城の姿を後世に伝えるため、城下の様子などを詩歌や絵画等に表現して明治16年頃にまとめたものです。「御泉水之図」には池の周囲に藤の花が咲いていた様子が描かれています。

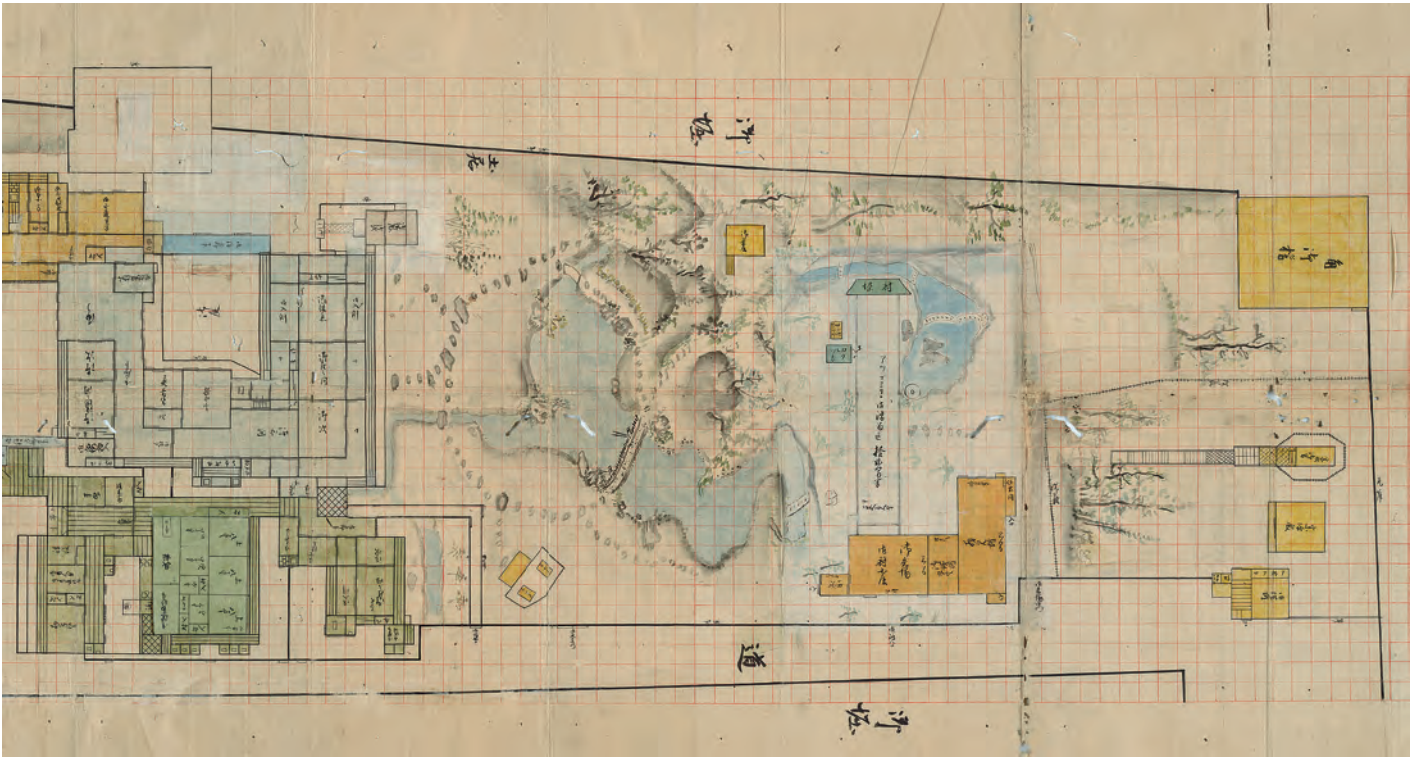
福井藩の庭園

福井藩の庭園は御泉水屋敷だけではなく、藩主の住まいであった御座所や江戸の福井藩邸にも庭園は作られました。また上級武士の下屋敷などにも名園が存在していたことがわかっています。ここでは、絵図や古写真などからその光景を偲びます。



中之郷なかのこう屋敷図（酒井康氏蔵 当館保管）

江戸の中之郷屋敷（現墨田区役所付近）を描いた絵図。中之郷屋敷は天保9年（1838）から万延元年（1860）まで福井藩の下屋敷・中屋敷として使われました。絵図を見て一目でわかるように壮大な池泉回遊式庭園が邸内に広がっていました。



御座所御絵図（写真は部分）（松平文庫 福井県立図書館保管）

5代昌親以降、藩主の住居となった西三ノ丸の御座所（現福井市中央公園付近）の平面図です。御座所の北側（写真中央）には築山を伴う苑池が描かれており、現在の県民会館跡地付近に池泉回遊式庭園が存在していたことがわかります。

近代以降の養浩館

明治維新の廃藩置県によって福井城は政府所有となりますが、御泉水屋敷の敷地は引き続き松平家の所有地として福井事務所や迎賓館としての機能を果たしました。明治17年には松平春嶽しんがによって「養浩館」と名づけられ、



大隈重信夫妻来福時の記念写真（当館蔵）

大正2年に大隈重信夫妻が福井を訪れた際、越前松平家18代当主松平康莊やすたか夫妻とともに養浩館で撮影したものです。松平家が明治28年に東京から福井へ本邸を移してからは、多くの要人が来福し養浩館にも訪れました。

その歴史については由利公正が明治24年に「養浩館記」を記しています。また養浩館は、その数寄屋造邸宅や池泉回遊式庭園が早くから注目され、すでに戦前に建築史・庭園史の専門家による調査がなされています。養浩館の建物等は惜しくも昭和20年の福井空襲により焼失し、その後は長く手つかずのままでしたが、昭和57年の国名勝指定をうけて、昭和60年から復原のための調査と整備工事が進行し、平成5年に完成、一般公開されるようになりました。本年は開園から20周年になります。



昭和 18 年頃の養浩館（田邊泰編『日本建築 養浩館』より）

展示目録

No.	資料名	員数	所蔵	備考
1	御泉水指図（複製）	1 幅	原本：松平文庫	文政 6（1823）年
2	北庄御城下之図	1 枚	当館蔵	慶長 19（1614）年頃 （嘉永 6 年山崎英繁書写）
3	忠昌・光通代城絵図并家中福井之図	1 枚	福井市春嶽公記念文庫	17 世紀半ば頃、影写本
4	御城下之絵図（複製）	1 幅	原本：松平文庫	正徳 4（1714）年
5	『探源公行状』	1 冊	当館蔵	村田氏章筆、7 代藩主吉品 （5 代昌親）の一代記
6	『築山庭造伝』（復刻本）	2 冊	当館蔵	秋里籬島編
7	福井温故帖	1 冊	越葵文庫	明治 16 年頃
8	御座所御絵図	1 枚	松平文庫	
9	中之郷屋敷図	1 幅	酒井康氏蔵 当館保管	
10	新撰東京名所図会	1 冊	当館蔵	
11	酒井屋敷図	1 幅	酒井康氏蔵 当館保管	
12	三秀園図	1 枚	松平文庫	
13	明治期諸絵図（養浩館庭園）	1 枚	松平文庫	明治 12 年ごろか
14	明治期諸絵図（養浩館新築絵図）	1 枚	松平文庫	明治 20 年代か
15	郷土史関係写真帖	1 冊	当館蔵	野路写真館旧蔵
16	養浩館の庭に於ける松平康荘の写真	1 枚	福井市春嶽公記念文庫	明治 26 年 5 月撮影
17	福井泉水邸写真	1 冊	福井市春嶽公記念文庫	昭和 2 年、10 年撮影
18	グリフィス博士福井訪問記録写真帳	3 冊	当館蔵	昭和 2 年撮影
19	北尾春道編『数寄屋住宅聚』	1 冊	個人蔵	昭和 11 年刊行
20	京都林泉協會発行『林泉』第 58 号	1 冊	当館蔵	昭和 14 年刊行
21	田邊泰編『日本建築－養浩館－』	1 冊	個人蔵	昭和 17 年刊行

※松平文庫は福井県立図書館保管、越葵文庫は当館保管、福井市春嶽公記念文庫は当館蔵。

関連行事

ギャラリートーク（当館学芸員による展示解説）

5 月 10 日（金）、5 月 19 日（日）、6 月 15 日（土）、6 月 29 日（土）
各日 14 時より約 30 分間 展示会場にて

次回の展示

松平家史料展示室

テーマ展 松平春嶽の科学器具

松平家史料展示室 展示解説シート No.75
平成 25 年 5 月 10 日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永 3 丁目 12-1
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 藤川明宏

印刷 宮本印刷